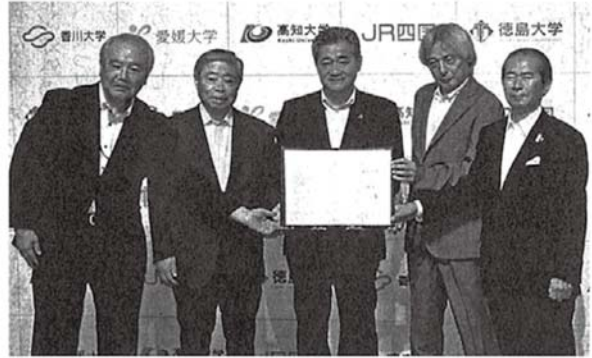


新聞記事に見る 徳島大学の 地域連携事業



連携協定を結んだJR四国の半井社長（中央）と徳島大の野地学長（左端）ら一高松市

地域・観光振興で協定

JR四国・4国立大締結

JR四国と徳島大、香川大、愛媛大、高知大の4国立大学は11日、地域活性化を目的に観光振興などで連携する協定を、高松市のホテルで結んだ。

大学側が地域の観光資源などを調査し、JR四国が旅行商品として販売するのが柱。2019年春ごろの販売を目指す。JRは社員を講師に派遣するなど人材育成にも協力する。

徳島大は▽総合科学部が県西部で行っている農村環境の活性化事業でJRと協力し、狩猟の見学などに観光客を招く▽大学構内に延長10〜20分の電車路線を敷設する構想がある。

半井真司社長は「若い力で四国を見直してもらい地域振興につながる」とあいさつ。

徳島大の野地澄晴学長は「研究の成果を商品化していただける貴重な機会になる」と意義を語った。（宮本真）

平成29年9月12日 [徳島新聞]

県内大学などと 県選管が協定

若者選挙啓発

徳島大など県内の高等教育機関と県選挙管理委員会は25日、選挙啓発に関する連携協定を結んだ。

協定では、出前講座での模擬投票の実施や選挙時の啓発活動などで協力し、若者の主権者意識の醸成と投票率向上を目指すとしている。具体的な事業は今後決める。

県庁で締結式があり、徳島大と鳴門教育大、四国大、徳島文理大、徳島工業短期大、阿南高専の代表者と、県選管の芝山日出高委員長が協定書を交わした。芝山委員長は「本県では特に20歳前後の投票率が低い。選挙は民主主義の根幹。主権者として貴重な一票を投じてもらえよう」と述べた。（笠井理）

平成29年12月26日 [徳島新聞]

初演の史実・背景紹介

都内で合唱や歌詞解説も

明大・徳大・県



「板東停留所収容所と『第九』と題した講座で意見交換するパネリスト—東京都千代田区の明治大駿河台キャンパス

ベーターベン「第九」の国内初演から100年になるのを記念した講座「板東停留所収容所と『第九』」（明治大、徳島大、徳島工業短期大、阿南高専）が8日、東京都千代田区の明治大駿河台キャンパスで開かれた。

徳島大の井戸慶治教授は、第1次大戦中、鳴門市にあった板東収容所では、音楽をほしめさせざるを得なかったことを紹介。「松井巖太郎所長の寛容性とヒューマニズムという長所があったほか、ドイツ兵捕虜が知識人や専門家に多様な構成だった」と、音楽を説明した。

同大の石川栄作名誉教授は、第2次大戦後、収容所を転用した引き揚げ住宅に住む元捕虜の継守を続けた女性の話を取り上げ、「交流は音楽を体験した人たちの世界平和への思いに受け継がれてきた」と語った。

明治大の渥声合唱団による「歌唱の歌」の合唱と、同大の井戸田隆一郎教授による歌詞の解説もあった。参加者も井戸田教授からドイツ語の指導を受け、大生と共に歌声を響かせた。

各地の第九合唱団に参加しているという東京都中野区の清水幸子さん（70）は「第九の歴史を教わって受継ぎたい」と話した。（高村千恵子）

平成29年10月9日 [徳島新聞]

家屋倒壊や津波

南相模トラフ巨大地震による津波、復興の道程を準備に促す。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

美波・由岐湾内地区 被災前提にまちづくり 「事前復興」の取り組み進む

被災前提にまちづくり「事前復興」の取り組みが進む。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

町外に2次避難所確保

町外に2次避難所確保。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。



平成29年9月1日 [徳島新聞]

3Dプリンターで制作の木偶で公演 「徳大アバ座」発足

活動第1弾 新作演目あす披露。徳島大学地域創生センターは、3Dプリンターで制作した木偶を使い、阿波入形浄瑠璃公演を行う人形浄瑠璃クラブ「徳大アバ座」を発足させた。活動第1弾として、19年後の時から阿波三島キャンパスで、新作の創作人形浄瑠璃を上演する。

3Dプリンターで制作されたお七様とお鶴。徳島大学地域創生センターは、19日の初公演で使われる3Dプリンターで制作されたお七様とお鶴。徳島大学地域創生センターは、19日の初公演で使われる3Dプリンターで制作されたお七様とお鶴。

平成29年11月18日 [徳島新聞]

住居選び「災害考慮」ゼロ

住居選び「災害考慮」ゼロ。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

県など 誘致パンフで周知へ

県など 誘致パンフで周知へ。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

町外に2次避難所確保

町外に2次避難所確保。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

平成29年10月3日 [徳島新聞]

3Dプリンターで木偶制作に挑戦を

3Dプリンターで木偶制作に挑戦を。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

3Dプリンターで木偶制作に挑戦を。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

平成29年7月31日 [徳島新聞]

多様な起業 地域磨く

多様な起業 地域磨く。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

廃校の体育館で養鰻

廃校の体育館で養鰻。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

食を通じ農業を守る

食を通じ農業を守る。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

平成29年6月18日 [徳島新聞]

首都圏と交換留学

首都圏と交換留学。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

オウライ (Pp)

オウライ (Pp)。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

今年度のプログラム

今年度のプログラム。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

平成29年5月27日 [徳島新聞]

思いがちなる場に

思いがちなる場に。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

思いがちなる場に

思いがちなる場に。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

思いがちなる場に

思いがちなる場に。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。被災者の生活再建を支援する。

平成29年11月18日 [徳島新聞]

「好きなこと 懸命に」

経営者、起業体験語る

地域に根差した仕事から経営者に転身した起業家を語る「まちごとファクトリー」が、徳島市で「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーを開催した。参加者は、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。



「仕事と地域」をテーマに意見を交わすパネリスト。徳島大第三キャンパス。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成29年6月4日 [徳島新聞]

「好きなこと 懸命に」として働く中でも生かした。(福地翔子)

創業心構えや 事業運営学

参加者、アイデア議論

徳島市で実践塾

地域に根差した仕事から経営者に転身した起業家を語る「まちごとファクトリー」が、徳島市で「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーを開催した。



創業の目的や事業内容について考える参加者。徳島大第三キャンパス。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成29年7月16日 [徳島新聞]

「楽しみ」を創業の力に

価値観の値段難しく 地域外向け商品用意

「楽しみ」を創業の力に。価値観の値段難しく、地域外向け商品用意。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。



人に判断を委ねない。店舗のシェアも検討。

「楽しみ」を創業の力に。価値観の値段難しく、地域外向け商品用意。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

16年度の「まちごとファクトリー」。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成30年2月3日 [徳島新聞]

仕事づくり計画を披露

徳大で本年度最終セミナー

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。



手作りのポスターを使って事業計画を披露するまちごとファクトリーの参加者。徳島大。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成30年1月28日 [徳島新聞]

起業予定の8人 事業計画を発表

徳島市

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成29年11月12日 [徳島新聞]

最新の防災情報発信

グッズ50点 体験企画も多彩

徳島大が展示会

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。



非常食や防災グッズなどが並ぶ展示会。徳島市の徳島大カレッジ新館。

平成30年1月10日 [徳島新聞]

「徳島で働く魅力」直伝

徳大で6高等教育機関共同授業

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。



若手リーダーら講義。徳島大第三キャンパス。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

「好きなこと 懸命に」をテーマにした起業体験セミナーが、徳島市で開かれた。パネリストは、経営者のリアルな経験や、地域に根差した仕事の重要性について学び、自身の将来について考える機会を得た。

平成29年8月22日 [徳島新聞]



業界の動向に関する企業代表者の講義を聴く大学生ら—徳島市の徳島大三島キャンパス

若者目線で魅力発信

地元民通う徳島市の16店

徳大生9人



徳島大総合学術部社会創生学科の3年生9人が、徳島市の飲食店などを訪ねるパンフレット作りを進めている。若者の視点を生かして市の魅力を発信してもらおうと、市が同大との連携協定に基づき依頼した。5千部を市内の観光施設などに置く予定で、2月中旬の完成を目指す。

観光パンフレット作り着々

飲食や雑貨 解説に英文も

パンフレットは「Tの佐原理准教授が理事OKUSHIMA Cの「映像デザイン研究」の学生を中心として」を担ぎ出した。学生を中心に、市内16店の飲食店や雑貨店を訪問し、店主やスタッフと会話を重ね、その魅力を詳しく取材している。学生は「地域の魅力を発信し、観光客の誘致に貢献したい」と話している。また、パンフレットには、店舗の名称や住所だけでなく、その店舗が提供するメニューや商品の魅力を英文で解説し、外国人観光客にもわかりやすく発信したいという意図がある。

県内の有望業界紹介

大学生らにガイダンス

徳島県内の就職に育成協会主催の「ICT」など4分野興味がある大学生ら16名が、徳島市南三島三島キャンパスで、成長と発展が期待される分野の企業代表者4人の講義を聴いた。講義に耳を傾けた大学生らには、就職先や業界の動向について詳しく紹介された。また、地域医療・福祉分野では、健康寿命を延ばすための取り組みや、高齢化が進む中で求められる人材の役割などについて、専門的な知識が提供された。ガイダンスは、学生たちが将来のキャリア選択に役立つよう、県内の有望業界を広く紹介する目的で開催された。

平成29年12月17日【徳島新聞】

平成30年1月9日【徳島新聞】

高血圧予防効果に期待

ダツタンソバの 焼き菓子を発売



スマイルホールディングスが開発したダツタンソバの焼き菓子

高血圧症や動脈硬化の予防に効果があるとされるポリフェノールの一種ルチンを含むという。

ダツタンソバは中国から輸入し、一口サイズでサクサクとした食感の菓子に仕上げた。ダツタンソバは地域によって「苦そば」と呼ばれるほど苦いため、甘味料を使って苦味を抑えた。

担当者は「子どもからお年寄りまで幅広い世代に食べてほしい」と話している。

スマイルHD 甘味料で苦味抑制

1袋80g入りで、税込込み648円。県内の全19店舗で販売している。

(大塚康代)

平成29年9月12日【徳島新聞】

あす小松島で狸まつり

三条通りを歩行者天国に

徳大生企画 路上落書きOK 催し多彩

小松島市で3日に開かれる恒例行事「こまつしまはちばちばまつり」(市街地活性化検討会主催)で、小松島町の三条通りが初めて歩行者天国として開放される。市が依頼を受けて、徳島大の小川宏樹教授(建築計画学)が小松島、小松島西の両高校の生徒が協力する。三条通りは小松島町松島市出身という縁から、小松島町と小松島西の両市が協力し、路上落書きOKというユニークな催しを実施する。また、路上落書きOKというユニークな催しを実施する。また、路上落書きOKというユニークな催しを実施する。

平成29年11月2日【徳島新聞】

がん検診

NPO法人・AWAがん対策募金(駒井啓介理事長)は10、11月に徳島県内の大学祭などで、子どもから親や祖父母らに向けてがん検診を呼び掛けるメッセージを書いてもらう「がん検診率向上プロジェクト」を行う。

学生から受診訴え

親・祖父母にメッセージ

「命がけがん対策募金が、がん検診率向上プロジェクトを推進している。子どもから親や祖父母らに向けてがん検診を呼び掛けるメッセージを書いてもらう「がん検診率向上プロジェクト」を行う。このプロジェクトは、学生たちが親や祖父母に対して、がん検診の重要性を伝えるための活動である。学生たちは、メッセージカードを作成し、大学祭やイベントで配布している。

今月から 県内NPO 大学祭などで啓発

2019年度の年間生酒消費量に関する調査によると、徳島県のがん検診率向上プロジェクトは、県民平均40・8%、全国平均45・9%、全国順位45位(1・4%増)となり、10・4%増(46・2%)となった。この結果を受けて、県内NPOは、今月から県内の大学祭などで啓発活動を開始する。活動の問い合わせはAWAがん対策募金(電話0854-2311200)。

平成29年10月7日【徳島新聞】(夕刊)

徳大病院発表

県全域で患者情報共有 医療ネット来春始動



阿波あいネットについて説明する永廣病院院長吉一徳大病院

徳大病院は28日、阿波あいネットの参加同意書の取得を進め、本学度中に2万7千人の登録を目標とする。阿波あいネットは、徳大病院のほか、20病院と9医師会が参加すると発表した。患者情報の共有は、阿波あいネットの運用を2018年1月に開始すると発表した。患者情報の共有は、阿波あいネットの運用を2018年1月に開始すると発表した。

阿波あいネットは、徳大病院のほか、20病院と9医師会が参加すると発表した。患者情報の共有は、阿波あいネットの運用を2018年1月に開始すると発表した。

徳大病院は28日、阿波あいネットの参加同意書の取得を進め、本学度中に2万7千人の登録を目標とする。阿波あいネットは、徳大病院のほか、20病院と9医師会が参加すると発表した。患者情報の共有は、阿波あいネットの運用を2018年1月に開始すると発表した。

平成29年11月29日【徳島新聞】

大正、昭和初期の遍路に関する資料を集めた展示「100年前の四国遍路」が、徳島市南三島町2の徳島大付属図書館で開かれている。当時の巡礼やお接待の様子が見られる写真パネル、私物の絵はがきなどが並び、遍路文化の歴史を感じさせる内容となっている。

100年前はどう巡礼？ 徳大で「四国遍路」展



「文化知るきっかけに」写真パネル70点... 徳島大で「四国遍路」展... 徳島大の四国遍路に関する資料がまとめた展覧会が、徳島市南三島町2の徳島大付属図書館で開かれている。当時の巡礼やお接待の様子が見られる写真パネル、私物の絵はがきなどが並び、遍路文化の歴史を感じさせる内容となっている。

平成29年9月16日【徳島新聞】

技術移転で産学連携

県保証協と徳大が覚書

徳島県信用保証協会と徳島大は13日、大学が持つ特許を企業に移す「技術移転」などで産学連携を進める覚書を締結した。県内中小企業のニーズを把握する協会が、徳大と連携することで大学の研究成果や特許を企業に紹介し、技術革新に生かす。徳大は、保証協会と徳大が昨年5月に結んだ地域創生に向けた連携協定の取り組みをさらに発展させた。

同日、徳島市の徳島大本部で締結式があり、酒池由幸保証協会長と野地澄晴徳島大学長が協定書に署名した。徳島市は、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや...

平成29年11月14日【徳島新聞】

子どもら道路に落書き

小松島で 歩行者天国にぎわう



歩行者天国となった三条通りで落書きを楽しむ子どもたち。小松島市。恒例行事「こまつまはちのちりまつり」は、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや...

歩行者天国となった三条通りで落書きを楽しむ子どもたち。小松島市。恒例行事「こまつまはちのちりまつり」は、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや、色とりどりの子どもたちや...

平成29年11月4日【徳島新聞】